



令和6年度林業イノベーションハブ構築事業

第3回 デジタル分科会 事業の実施報告（最終報告）

日時 | 令和7（2025）年1月23日（木）13:30～16:00

場所 | 日林協会館 3階 大会議室

Web会議「Webex」を併用



一般社団法人 日本森林技術協会

Japan Forest Technology Association

1. 全体の進捗（本日のデジタル分科会について）
 - 第2回デジタル分科会の振り返り
 - コーディネータ派遣の進捗状況（スケジュール等）
 - デジタル林業戦略拠点 横展開の実施方針（案） ※再掲

2. その他
 - 今後のスケジュール
 - 【案内】 最終のチェックリスト・事業スケジュール

1-1. 第2回デジタル分科会の振り返り①

日程 令和6（2024）年9月6-7日（金-土）

行程

回数	種別	概要
9/6 (金)	□ 視察、意見交換	□ 株式会社米子木材市場 □ 山土場（西佐伯郡大山町） □ 株式会社ミヨシ産業 <プレカット工場>
	□ 第2回デジタル分科会	□ 鳥取地域 SCMシステムについて □ 静岡地域 進捗報告・視察しての意見 □ 北海道地域 進捗報告 □ 質疑応答・意見交換
9/7 (土)	□ 視察、意見交換	□ 株式会社日新 <合板工場>
	□ 意見交換（座談会）	□ SCMシステム、サプライチェーンの可視化について □ 委員等からのコメント・振り返り □ リードタイム、在庫量に係る視点での意見交換

参加者

【委員等】 伊呂原 隆（上智大学 理工学部 情報理工学科 教授）

鹿又 秀聡（座長、森林総合研究所 林業システム研究室）

高橋 伸幸（群馬県森林組合連合会 総務部長）

中澤 昌彦（森林総合研究所 収穫システム研究室 室長）

【デジ林3地域】 北海道地域（分科会Web参加）、静岡地域（現地参加）、鳥取地域（現地参加）

【事務局】 林野庁、日本森林技術協会

【オブザーバー】 森林総合研究所 林業システム研究室、住友林業

1-1. 第2回デジタル分科会の振り返り②

現地視察の目的

- 鳥取地域における山土場 → 木材市場 → 合板工場 → プレカット工場までの木材の流れを確認する。
- 伊呂原委員より経営工学の観点から林業・木材産業にアドバイスをいただく。
- 鳥取地域が構築しているシステムの原型となった（株）ミヨシ産業の社内システムを視察する。

山土場



(株) 米子木材市場



(株) 日新



(株) ミヨシ産業



1-1. 第2回デジタル分科会の振り返り③ ～意見等～

指導・助言、意見等（抜粋）

項目	内容
分科会	<ul style="list-style-type: none">□ （鳥取県）SCMシステムの開発状況とテスト運用における評価等について<ul style="list-style-type: none">■ 各段階での在庫量または取扱量、入荷量・出荷量の差分などが、グラフで見える化されるとよいのではないか。■ 将来的に伐区の位置情報や丸太1本ごとの情報なども取り組めるようにしてはどうか。□ （北海道）ICTハーベスタを活用した生産管理の実証及び下刈り機械の活用実証について<ul style="list-style-type: none">■ 集材後に納品の規格に合わせるため、現場で規格変更（採材長さ、仕向け先等）を行うことがあり、ICTハーベスタで取得したデータがサプライチェーンの中で繋がらなくなる可能性があることが課題。□ （静岡県）山土場位置情報や素材生産事業者へのフィードバック機能などの実証について<ul style="list-style-type: none">■ 土場で滞留する在庫が減る、配車の効率がよくなることから、生産性も上がるというつながりが定量的に示せるとよいのではないか。
意見交換（座談会）	<ul style="list-style-type: none">□ 自動車産業などと比べると、木材市場の出荷量の月次変動幅の大きさや、工場内の仕掛在庫が大きく、かつ、これらを改善する仕組みが無いように見え、改善の余地はあると思う。□ 川中から川下のサプライチェーンは多様な事業者が担っており、効率化によるコスト削減を定量評価することが事業者間での損得感情を惹起する可能性。直接的なコスト試算ではなく、在庫とリードタイムを指標化することも一案ではないか。□ 林業界で山側の在庫量についてはリードタイムが考慮されてこなかった。リードタイムが短ければ良いということではなく、最適なのかという観点が重要である。

1-2. コーディネータ派遣の進捗状況（スケジュール）

項目	令和6（2024）年									令和7（2025）年		
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
デジタル分科会		→ 報告資料 作成依頼	★ 第1回 7/22		★ 第2回 9/6～7	現地検討会 鳥取県にて実施			★ 第3回 1/23	今年度の成果を 報告 ※シンポジウムの 報告練習兼ねる		
・初回打合せ	★ デジ林3地域 5/20・22	年度内に最低限2回、コーディネータを現地派遣（事務局は任意で派遣に同行）										
コー ディ ネー ター 派 遣	北海道地域			★ 8/8～9			●Web 11/27				★ 3/6	
	静岡地域	→ コーディネーター 派遣手続き		★ 7/17			★ 11/27			★ 2/10～ 調整		
	鳥取地域			●Web 8/1～2	★ 9/5		★ 11/27	●Web 12/16 ～18			★ 3月中 予定	
下記、森ハブ事務局の流れ（デジ林3地域の関連箇所）												
■ 専門委員会等 情報共有			★ 第1回 7/30			★ 第2回 10/31			★ 第3回 1/27		3 月 14 日 （ 金 ） 納 品	
■ シンポジウム								→ 報告資料等 作成依頼	★ 開催 2/6			

1-3. 横展開に関する全体像①

3地域(R5～)の取組を踏まえ、地域一体でデジタル技術を活用する取組の全国展開をR8年度から本格的に実施。R6年度は全国展開に当たっての必要事項を検討・整理し、R7年度は横展開に必要なツールを整備。



政策目標※R5年度は実績

	R5	R6	R7	R8	R9	R10～R11	R12
フェーズ3 デジタル林業の自律的展開	0	0	(3)	(P)	(P)	(P)	<u>25</u> ※拠点が1つ以上ある都道府県
フェーズ2 複数事業体・複数工程の連携の実証	6 県 6 協議会						
フェーズ1 コンソーシアムの形成	12 県 17 協議会	(17)	(27)	(37)	<u>47</u> ※拠点構築に向けた取組を実施する都道府県数		

取組予定

デジタル林業戦略拠点構築推進事業	地域での実証活動支援 コーディネーター派遣による伴走支援	継続 (P)					
横展開の推進 (R6～R7は森ハブ・デジタル分科会)	必要事項の検討・整理	ツールの整備 (P)	コーディネーター派遣による伴走支援 (P)				

本分科会での議論のポイント

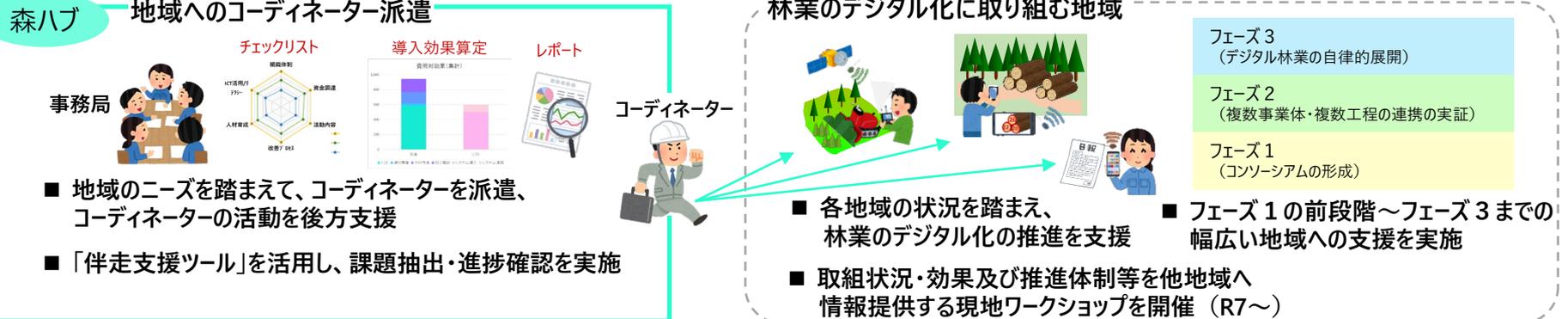
R8年度から開始する横展開に向けて、現時点で想定する横展開の方策案を提示案に対する幅広い意見をいただき、R7年度に検討・実施すべき事項を整理

1-3. 横展開に関する全体像①～横展開の実施方針(案)～

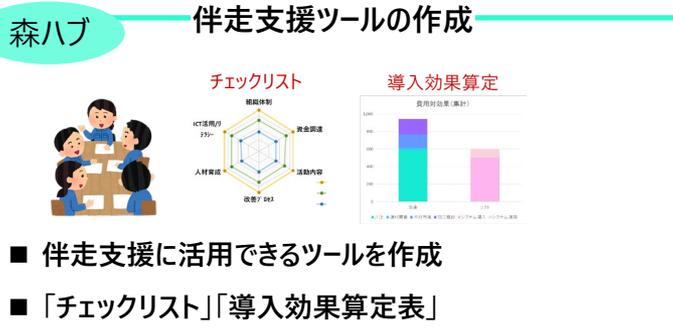
第1回
再掲・更新

デジタル林業戦略拠点の横展開には、現在の「デジタル林業戦略拠点」3地域への伴走支援体制のスキームを活用し、コーディネーター派遣による伴走支援を実施。
R7年度は森ハブ事務局において地域の課題抽出・進捗確認等のコーディネーターが活用する伴走支援ツールを作成。

横展開の体制



伴走支援ツール



森ハブ事務局やコーディネーターが地域支援の際に活用

作成済みのツール

(i) チェックリスト (R6.1月版、今後は必要に応じてブラッシュアップ)

(ii) 導入効果算定表 (更新案を作成中) 等

本分科会での議論のポイント

横展開の体制 : コーディネーターによる助言スキームの拡充 (コーディネーターの体制、1人当たりの地域数) など。

伴走支援ツール : チェックリストと導入効果算定表の他に必要なツール